

**画像表示に関連する統合プロファイルの概要-MAMMO, NM
(最新のものを含む BIR, MDI, PIC)-**

京都医療科学大学 細羽 実

IHE統合プロファイルは、ワークフローに関わるもの、コンテンツに関わるもの、インフラに関わるものに分けられるが、放射線分野の最近の動向としては、様々なモダリティから出てくる画像コンテンツに関わるプロファイルが登場してきている。DICOM規格の核医学画像(NM)、マンモグラフィ画像(MAMMO)、MR拡散画像(MDI)、CT/MRのperfusion画像(PIC)などの取り扱いを記述したプロファイルである。さらに可搬型媒体上にあるDICOM画像(PDI統合プロファイルによって書かれたもの)の表示を行う仕様についても統合プロファイルとして整備された(BIR)。ここでは、これらの表示に関わる統合プロファイルを中心に概要を報告する。MAMMOでは、マンモグラフィ画像とCAD結果(エビデンスオブジェクト)が生成、交換および利用されるかについて規定している。モダリティがFull Field Digital Mammography(FFDM)画像を取得し、CADシステムがEC(エビデンス・クリエータ)として処理し、画像表示装置が画像とCADの結果をどのように取り出し表示すべきかについて記述している。これらは、画像表示装置が備えるべき基本的な表示機能、およびこれらの機能を実装するためにどの属性を利用するのが望ましいかについての定義となっている。マンモグラフィ画像を撮影し、保存し、利用する過程は他のモダリティの画像と同じワークフローによって処理される。MAMMOは、撮影された画像、前回画像を表示し、CAD結果との総合的な読影を可能にするためのものである。同様にNM、MDI、PICなど、特別なアプリケーションによって処理された一連の機能を表現した画像を正しく、保存し、表示するためのプロファイルが開発されている。これらのプロファイルにより、モダリティからの画像だけでなく、各種機能画像を放射線部門のみならず、診療現場や医療連携において利用することが可能となる。